

2026年のCIO / テクノロジ・ エグゼクティブのアジェンダ (抜粋版)

度重なる計画変更の中で、成果を出し続けるためには

エグゼクティブ・サマリ

2026年は、年次の計画サイクルではなく、方向転換や優先順位の見直しといった軌道修正が主流となる

2026年の計画に及ぼす主な影響 (予測)



生成 AI の試験運用から、エージェント型 AI* の投資収益 (ROI) への前進

- テクノロジ・エグゼクティブの64%が、今後1～2年間にエージェント型AIの導入を計画している
- エージェント型AIは、これまでの生成AI施策よりも事業価値への近道になり得るが、成功のためには、事業に沿って明確かつ測定可能な価値目標を設定したAIロードマップ、従業員のスキルアップの取り組み、堅牢なデータ管理／ガバナンスが必要とされる
- これらが欠けると、重要なROI目標を達成できないリスクが高まる



地域特性に即したベンダー戦略の再考

- ほとんどのテクノロジ・エグゼクティブは、グローバルな戦略的テクノロジ・ベンダーの組み合わせを見直し、米国以外のCIOおよびテクノロジ・エグゼクティブの50%は、地域的要因に基づいてベンダーとの関わり方の変更を見込んでいる
- 米国を拠点とする企業は、中核となるベンダーとの関係の変更を最小限にとどめると予想される
- ベンダー戦略の意思決定は、ビジネス・ニーズの変化と市場動向に左右される



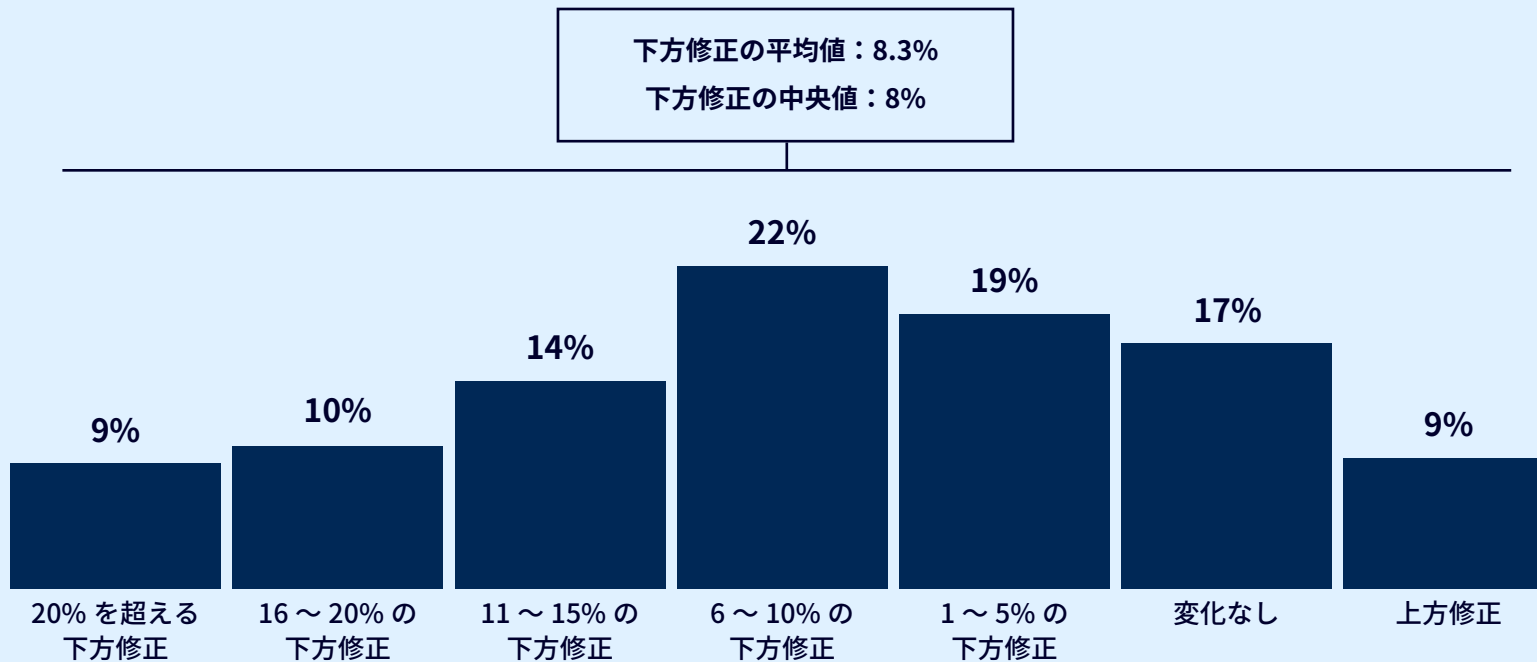
意思決定の適応力を強化

- テクノロジ・エグゼクティブは、優先事項を随時に見直し、リスク・マネジメントとシナリオ・プランニングの効果を高めることで、価値目標を達成する可能性を高めなければならない
- CIOの64%は、今後2年以内に計画した成果に中程度または大幅な変更があると予想している
- 生産性向上、コスト削減、収益性の確保といったプレッシャーは常に存在し、2026年にかけて一段と強まる

* または、エージェント型 AI

経営幹部は 2025 年の成長予測にブレーキ

2025 年の売り上げ成長予測の修正



経営幹部の **74%** が、自社の **2025 年の売り上げ成長予想を下方修正** した。

全体として、年初の売り上げ成長予想から平均 **8.3%** 下方修正している。

n=253、Cレベル幹部／統括責任者とその直属の部下（「不明」を除く）

質問：「貴社の経営幹部が 2025 年の売り上げ成長率を修正した場合、その修正はどの程度でしたか」

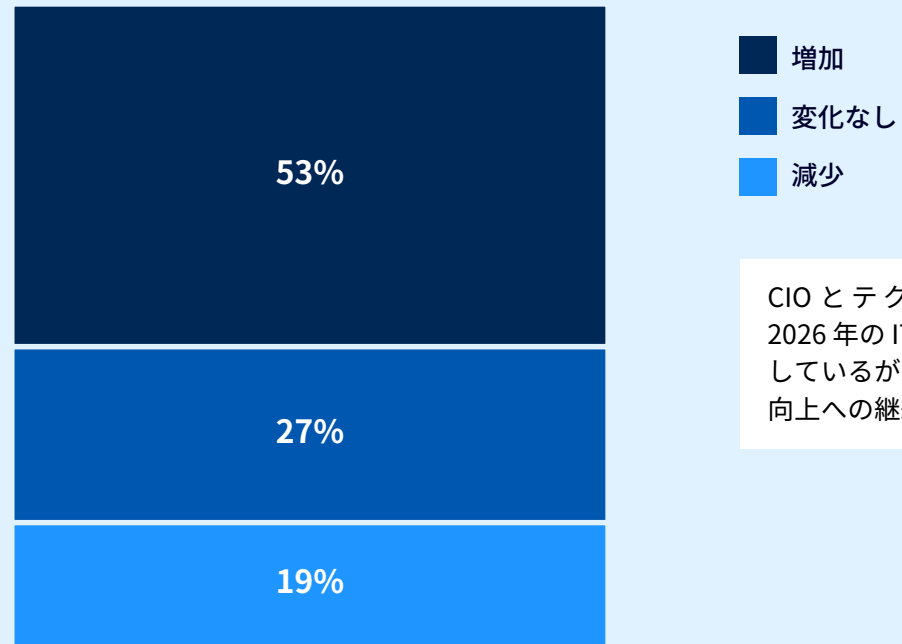
出典：2025 Gartner Quarterly C-Level Economic Pressures and Forward Planning Survey

IT 予算は微増

2026年に予想されるIT予算の変化

回答者の割合

平均増減率：+2.79%



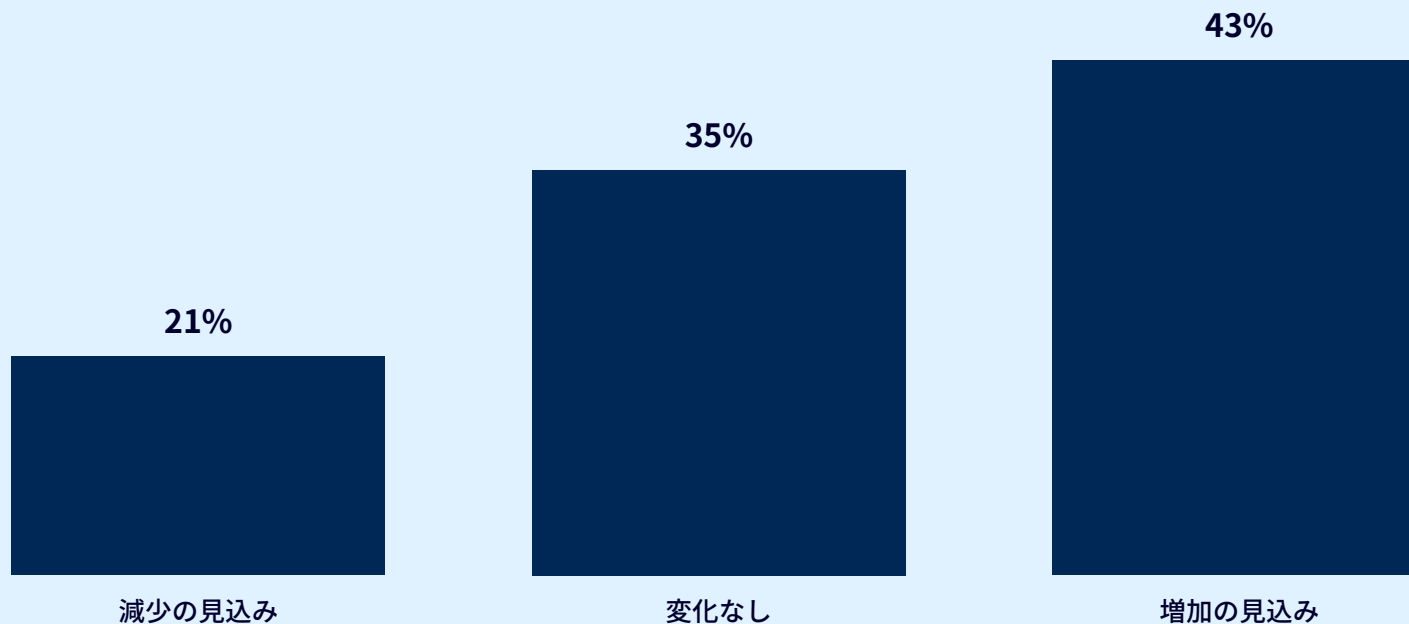
CIOとテクノロジー・エグゼクティブは、2026年のIT予算はわずかに増加すると予想しているが、依然としてコスト削減と生産性向上への継続的な圧力に直面し続ける。

n=2,321、CIOおよびテクノロジー・エグゼクティブの回答者（「不明」を除く）
質問：「貴社のIT予算は、2025年と比べ2026年には何パーセントの増減が見込まれますか」
出典：Gartnerの2026年CIO / テクノロジ・エグゼクティブ・サーベイ

テクノロジー人材の増員は限定的： 社内の生産性向上への焦点が浮き彫りに

1年以内に予想されるテクノロジー人材の増減

回答者の割合



平均増減率：+1.33%

中央値：変化なし (0%)

最頻値：変化なし (0%)

ほとんどのテクノロジー・エグゼクティブは、同じ規模またはより少ない人員で、高まる期待に対応する必要に迫られる。増員を見込む企業はあるものの、全体として変化は小幅にとどまる見通しである。

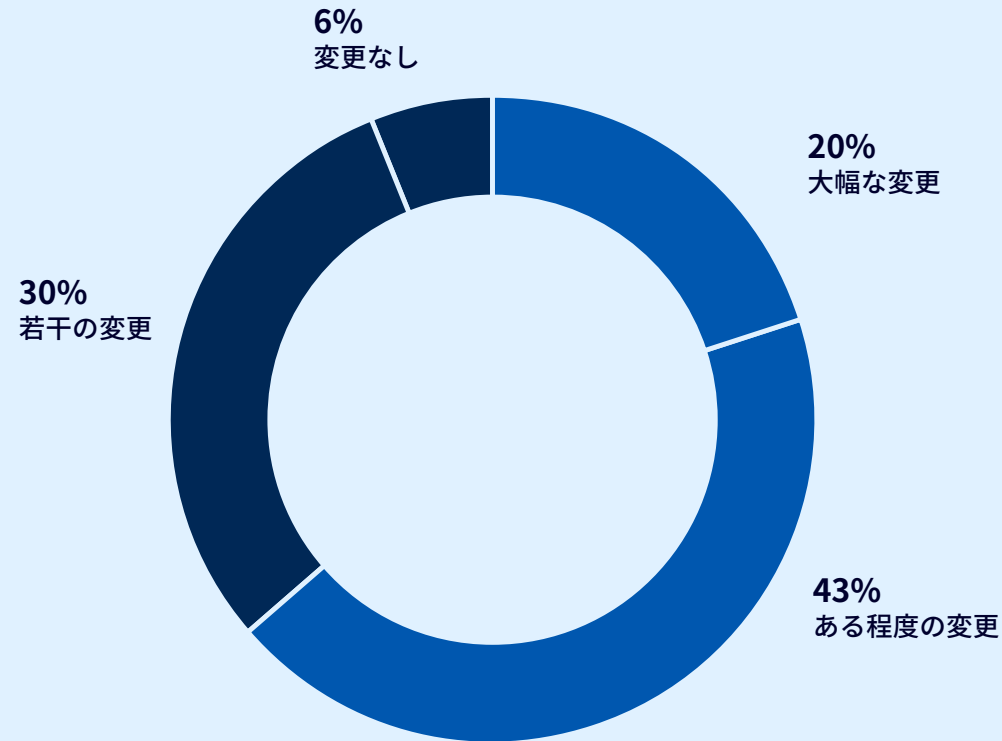
n=2,315、CIO およびテクノロジー・エグゼクティブの回答者

質問：「今後1年間に、貴社のテクノロジー業務に従事するフルタイム相当 (FTE) の従業員数および請負業者数に何らかの変化があると予想されますか」

出典：Gartnerの2026年CIO / テクノロジ・エグゼクティブ・サーベイ

経済の変動により、2026年の成功基準を再定義

今後1～2年間における成果目標の変化 回答者の割合



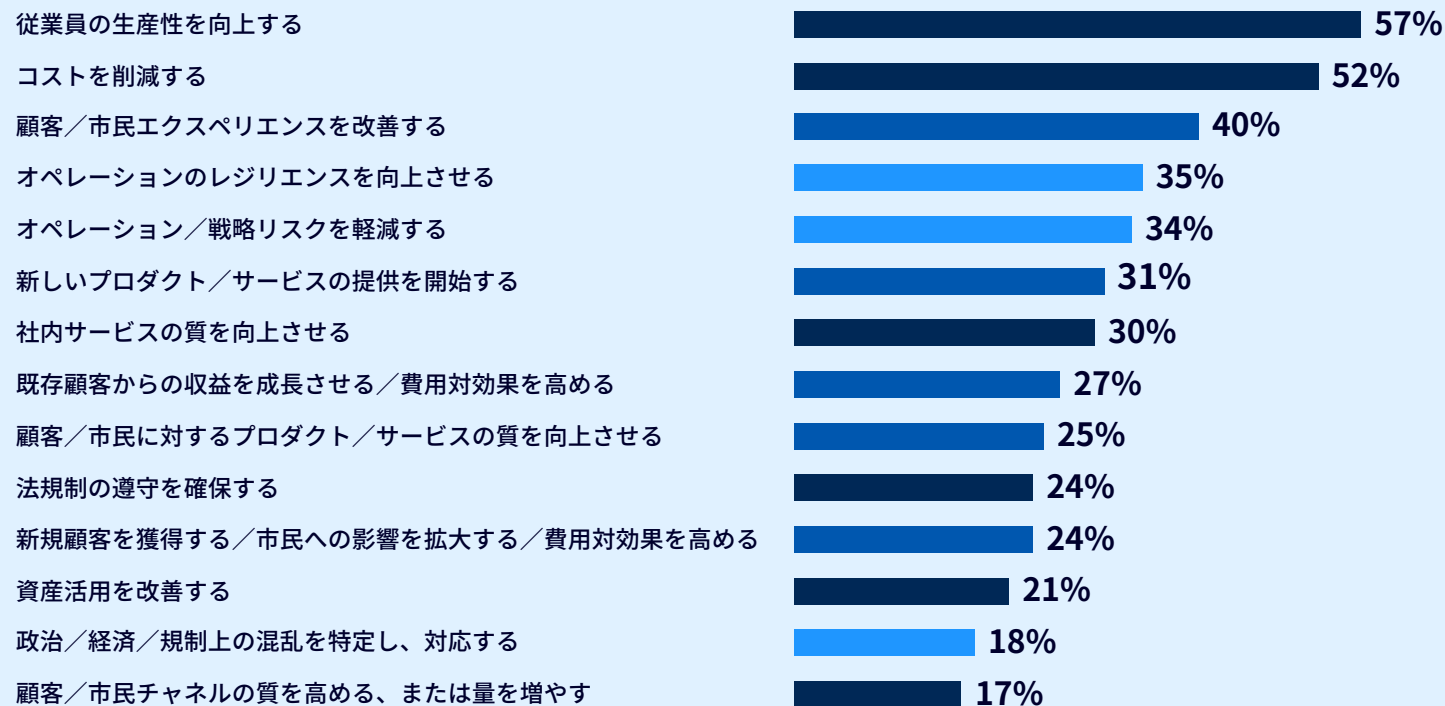
ほとんどのCIOやテクノロジー・エグゼクティブは、2026年には成功の基準が変わると予想している。また、過半数が、今後1～2年間で成果目標が顕著に変化すると予想している。

n=2,501、CIOおよびテクノロジー・エグゼクティブの回答者
質問：「市場のディスラプションや変動を踏まえ、現在貴社の部門に期待されている成果が、今後1～2年間でどの程度変更されると予想されますか」
出典：Gartnerの2026年CIO / テクノロジ・エグゼクティブ・サーベイ

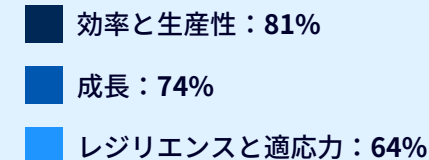
コスト削減と生産性向上への圧力が強まる

2026～2027年に最も重視されると予測される成果

回答者の割合



カテゴリ別に複数を選択した回答者の割合：



ほとんどのテクノロジー・エグゼクティブは、コスト削減と従業員の生産性向上への圧力が今後さらに高まると予想している。

n=2,340、CIO およびテクノロジー・エグゼクティブで、職務目標にわずかな変化から大きな変化が生じていると述べた回答者
 質問：「今後1～2年間で部門目標に若干から大幅な変更が予想されると回答した方に伺います。最も重視される成果を以下から選びください」
 出典：Gartnerの2026年CIO / テクノロジ・エグゼクティブ・サーベイ

2026年のテクノロジー計画における3つの戦略的転換

1



AIの試験運用の正当化から、
エージェント型AIの本格展開へ

2



地域に依存しない調達から、
地政学的戦略に沿った調達へ

3



定期スケジュールに従った意思決定から、
状況変化に応じた柔軟な意思決定へ

2026年のテクノロジー計画における3つの戦略的転換

1



AIの試験運用の正当化から、
エージェント型AIの本格展開へ

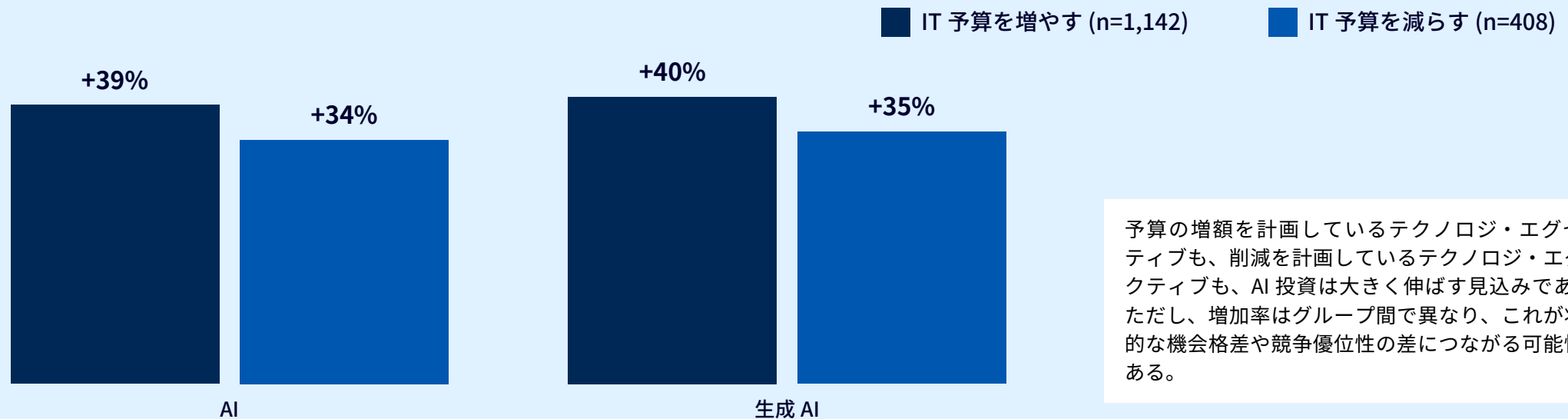
推奨事項

生成AIからエージェント型AIへと焦点を移します。これは、エージェント型AIが「新しく優れたテクノロジーだから」ではなく、ROIを生み出す可能性がより高いためです。2025年は、AIの試験運用、発見、実験に焦点が当てられた年でした。2026年は、エージェント型AIでROIを実現する年になります。生成AIの重要性は今後も変わりませんが、間もなく投資の軸はエージェント型AIへと移ります。

IT 予算が縮小する局面でも、テクノロジー・エグゼクティブは AI 投資を拡大

2025年と比較した場合の、2026年のAI／生成AI投資の平均変化率

「IT予算を増やす」と「IT予算を減らす」の回答状況



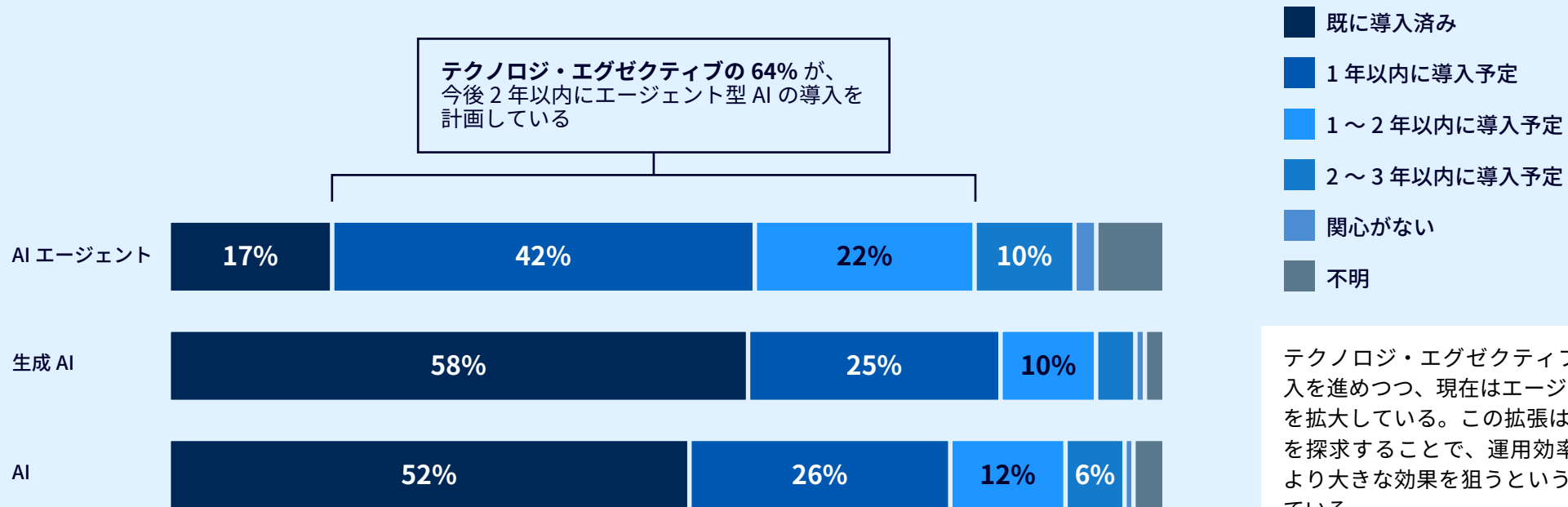
予算の増額を計画しているテクノロジー・エグゼクティブも、削減を計画しているテクノロジー・エグゼクティブも、AI投資は大きく伸ばす見込みである。ただし、増加率はグループ間で異なり、これが将来的な機会格差や競争優位性の差につながる可能性がある。

回答者数(CIOおよびテクノロジー・エグゼクティブの回答者)は対象グループによって異なる
 質問:「貴社が次の各テクノロジー分野に投入する2026年の投資額は、2025年と比較してどの程度増減すると思われますか」
 質問:「貴社のIT予算は、2025年と比べ2026年には何パーセントの増減が見込まれますか」
 出典: Gartnerの2026年CIO／テクノロジー・エグゼクティブ・サーベイ
 備考: 図表では、「変わらない」を選択した回答者の割合を省略している。

テクノロジー・エグゼクティブの焦点は、 エージェント型 AI の ROI 実現へとシフト

AI、生成 AI、エージェント型 AI の導入状況

IT 予算の増減予想別回答者の割合



テクノロジー・エグゼクティブは、AI / 生成 AI の導入を進めつつ、現在はエージェント型 AI に取り組みを拡大している。この拡張は、AI 活用の新たな領域を探求することで、運用効率と体験価値の双方で、より大きな効果を狙うという戦略的な焦点を反映している。

n=2,501、CIO およびテクノロジー・エグゼクティブの回答者

質問：「市場のディスラプションや変動を踏まえ、現在貴社の部門に期待されている成果が、今後 1～2 年間でどの程度変更されると予想されますか」

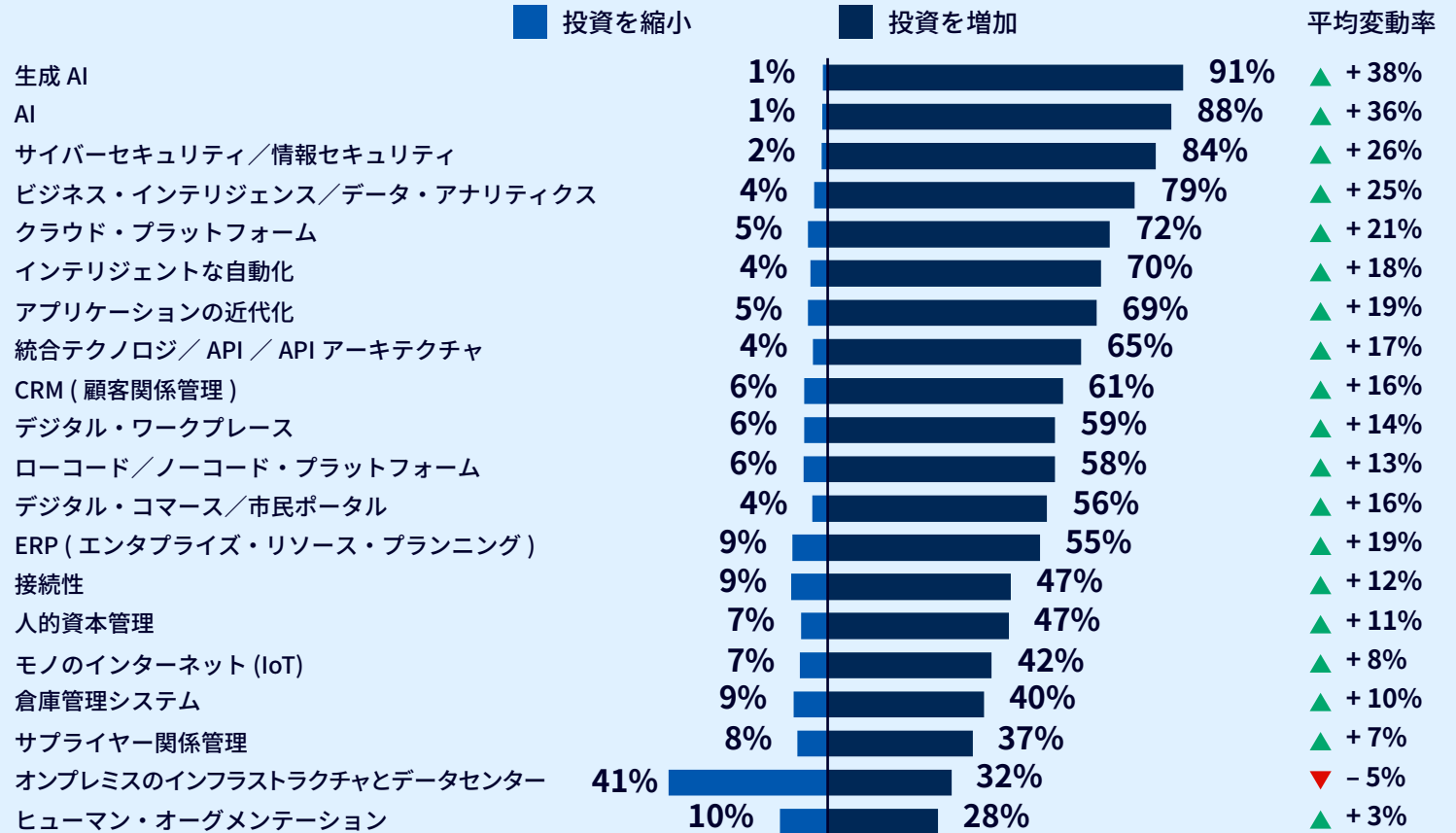
出典：Gartner の 2026 年 CIO / テクノロジ・エグゼクティブ・サーベイ

予算引き締めにもかかわらず、ほとんどのテクノロジーの投資が増加

テクノロジー・エグゼクティブは、競争上の差別化を生み出すため、AIとその支援テクノロジーへの投資を積極的に増やしている。

2025年から2026年にかけてのテクノロジー投資の変動

回答者の割合



n=1,149 ~ 2,425、当該テクノロジーを導入した企業の CIO およびテクノロジー・エグゼクティブ

質問：「貴社が次の各テクノロジー分野に投入する 2026 年の投資額は、2025 年と比較してどの程度増減すると思われますか」

出典：Gartner の 2026 年 CIO／テクノロジー・エグゼクティブ・サーベイ

備考：図表では、「変わらない」を選択した回答者の割合を省略している。

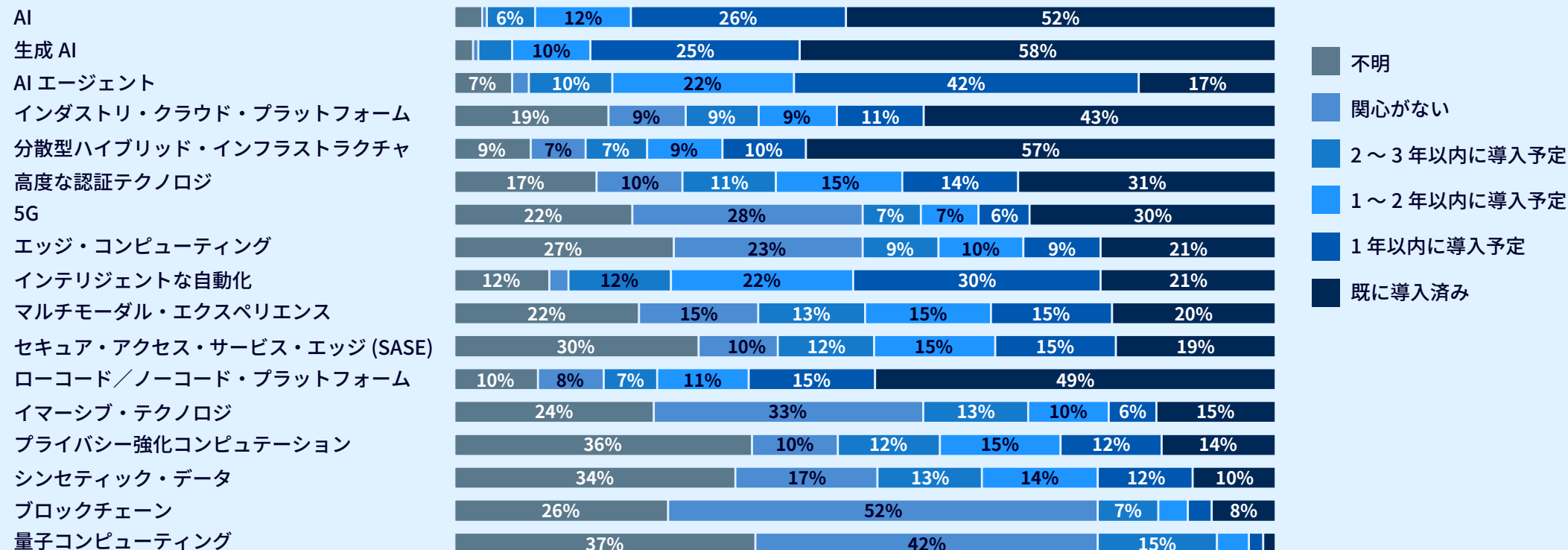
備考：他の項目に含まれないアプリケーションの近代化。

備考：API と API アーキテクチャを含む。

先進テクノロジーの試験運用と導入の段階

先進テクノロジーの導入状況

回答者の割合



n=2,487、CIO およびテクノロジー・エグゼクティブの回答者

質問: 「貴社は以下のデジタル・テクノロジーとそのトレンドに関してどのような導入計画を立てていますか」

出典: Gartner の 2026 年 CIO / テクノロジー・エグゼクティブ・サーベイ

備考: 5% 未満のデータ・ラベルは省略されています。

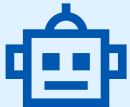
CIO / テクノロジ・エグゼクティブのアクション項目

推奨事項



生成 AI への投資の拡大と加速

- **事業成果との整合**：社内の生産性向上にとどまらず、最終利益や売り上げで成果をもたらす AI 施策に焦点を当てます。
- **バランスの取れた投資方針**：AI テクノロジへの投資に加え、AI 戦略、ガバナンス、リテラシー、エンジニアリング、組織設計、ポートフォリオ管理、価値基盤にも投資し、AI の活用の拡張と ROI を確保します。
- **AI-Ready なデータ**：AI のユースケースに適したデータを確保し、継続的な検証をサポートし、ガバナンス基準を満たしていることを確認します。
- **テクノロジー・スタックの評価**：既存エンタープライズ・ソフトウェアに AI を統合できるよう、テクノロジー・スタックを評価し、アップグレードします。



エージェント型 AI 機能の導入

- **エージェント型 AI の試験運用での優先順位付け**：経営幹部と連携して、リスクと統合能力を評価しながら、エージェント型 AI の試験運用のために影響度の高い領域を特定して優先させます。
- **エージェント型 AI の準備**：主要な業務フローをマッピングし、運用およびビジネスモデル全体の見直しを評価して、エージェント型 AI の価値を最大化します。
- **エージェント型 AI のガバナンス**：エージェント型 AI に関する法律／倫理／運用上のガイドラインを策定し、強力なモニタリングで組織と顧客を保護します。

2026年のテクノロジー計画における3つの戦略的転換

2



推奨事項



CIO やテクノロジー・エグゼクティブのリーダーの地理的条件やデータ主権に関するリスクが、

**本 eBook は「CIO / テクノロジ・エグゼクティブの
アジェンダ」(全 24 ページ) からの抜粋版です。
レポート全文をご覧になりたい方は、
こちらまでお問い合わせください。**

レポートに関する
お問い合わせ

実用的で客観的なインサイト

CIO のためのリソース / ツールを無償でご利用いただけます。

Tool

Gartner for CIOs

エグゼクティブ パートナーと共に、Gartner の価値を最大限に活用できます。

[詳細を見る](#)

Tool

Accelerators for CIOs

セルフサービス型の各種ツールで、重要施策を迅速に立ち上げ、時間とコストを節約できます。

[詳細を見る \(英語 \)](#)

Tool

AskGartner

短時間で最適な回答とニーズに合わせたアウトプットを取得し、確信を持ってアクションを起こすことができます。

[詳細を見る \(英語 \)](#)

Tool

IT Score for CIOs

主要な機能プロセスと活動を Gartner IT Score でベンチマーク評価できます。

[詳細を見る \(英語 \)](#)

Gartner のお客様は、クライアント・ポータルでさらに多くのリソースをご利用いただけます。 [ログイン](#)

Connect With Us

Gartner は、経営幹部およびそのチームに対し、実行可能かつ客観的なビジネスおよびテクノロジーのインサイトを提供します。Gartner のエキスパートによるガイダンスやツールは、組織の重要な課題について、迅速で優れた意思決定と大きな成果の創出を可能にします。

[Gartner のサービスに関するお問い合わせ](#)

CIO を成功に導く Gartner のサービス

gartner.co.jp/ja/chief-information-officer

最新のインサイトをご確認ください



Gartner のコンファレンスにご参加ください

[コンファレンスの最新情報を見る](#)